

令和8年度当初予算の重点事業

1 「はたらく親を応援するまち」の推進

小学校内に放課後等の居場所を開設します 5,437万円



小学校敷地内に、放課後児童クラブ、児童センターの一部、放課後子ども教室の3つの機能を集約した新たな居場所を開設し、民間団体に管理・運営を委託します。
令和8年度は横川小学校に加え、亀崎小学校内に新たな居場所を開設します。

小学校内に早朝の居場所を開設します **NEW** 124万円



※イメージ図

はたらく親を支援するため、小学校敷地内に始業前の児童が安心して過ごせる居場所を確保します。
令和8年度からさくら小学校をモデル校として実施し、令和9年度は5校(各中学校区に1校)、令和10年度には市内全13校での実施を目指します。

協和保育園と成岩幼稚園を統合し、こども園を整備します 11億7,640万円



▲(仮称)成岩こども園整備イメージ

市立協和保育園と市立成岩幼稚園を統合し、令和9年度の新たな市立認定こども園の開設に向けて、前年度に引き続き、新園舎建設工事を実施します。

その他の事業

- 3歳未満の2人目の子以降の保育料無償化 9,931万円
- 子ども医療費助成 6億9,836万円
- 小学生への放課後等の遊びや生活の場の提供 3億3,336万円
- 保育園等への登園準備に係る保護者負担の軽減 2,251万円
- 給食費支援(物価高騰対策) 1億368万円



2 中心市街地の活性化

中心市街地活性化を推進します 7,185万円



「半田市創造・連携・実践センター(コココリン)」や半田運河エリアの「_unga」(スペースウング)を拠点とした起業やまちづくりの交流促進、中心市街地活性化協議会を始めとした公民連携による活性化の取組を推進します。

知多半田駅東ロータリーをリニューアルします 6,812万円



◀知多半田駅前広場整備イメージ

知多半田駅東ロータリーで、居心地よく滞在でき、多様な利活用が可能な魅力的な空間を創出するため、「車」中心から「人」中心の駅前へのリニューアルに向けた実施設計や実証実験等を行います。

その他の事業

- JR武豊線の高架化とJR半田駅前土地区画整理事業の推進 9億7,824万円
- 名鉄河和線の高架化に関する調査 1億1,440万円 **NEW**
市街地の東西分断を解消するために実施する名鉄河和線の連続立体交差事業調査などを事業主体である愛知県と連携して進めます。

3 小学校区コミュニティの構築



地域拠点を整備し、「住み続けたいまちづくり」を推進します 6,949万円

人口減少等の影響により多様化・複雑化が進む地域課題の解決のため、成岩小学校敷地内に地域の拠点として「成岩地域共創センター:わくなるの森」を整備し、令和8年7月から運用を開始します。

◀わくなるの森整備イメージ